

部 方 針 書

年度	部名	部長名
R8	交 通 局	磯中 克文

1 部の経営方針（部全体を俯瞰したマネジメントの目標）

No	経営方針・取組の方向性（業務、組織、人材に関するマネジメント目標を含む）
1	安心・安全な運行を徹底する。
2	市民・利用者が本当に使いやすい路線バスサービスを提供する。
3	様々なまちづくりと組織横断的に連携した移動手段を確保する。
4	持続可能な経営基盤の強化に取り組む。
5	企業の経済性を発揮し、職員が挑戦を楽しみ、仕事を通じて成長を感じることができるモチベーションの高い組織を目指す。
人財育成・内部統制	管理職自らが模範となり、凡事徹底を実践することで、適切かつ効率的な事務の執行及び信頼される組織を目指す。

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R8	交通事業課	古谷信弘

1 課の使命

市民生活、まちづくりにおいてどのような責務を負っているか、存在理由

- ・市民の移動を担う社会インフラとして安全に運行する。
- ・利便性の高い移動手段として、使いやすい路線バスサービスを提供する。
- ・市営バスとしての強みを活かして、まちづくりと連携した移動手段を提供する。
- ・市営バスとして信頼される公共交通であり続けるため、安定した経営のもと、持続可能な事業運営を行う。

2 課の目標

No.	使命を果たすために目指す状態、到達点	関連計画	指標(単位)	最終目標 (最終目標年度)	R7実績(見込)	R8目標
1	安心・安全な運行の徹底 【到達点】対人・対物事故ゼロ	—	対人・対物事故件数 (第三者へ損害を与える事故)	0件 (—)	3件 (対人1件、対物2件)	0件
2	使いやすい路線バスサービスの提供 【到達点】利用者数の増加・満足度の向上	・前期実績(施策5-4) ・個別計画 (宇部市地域公共交通計画)	路線バスの 1日当たりの利用者数	5,500人 (R8)	5,055人	5,500人
		—	市民意識調査における 「利便性の高い地域公共交通の確保」満足度	20.0% (R8)	17.1%	20.0%
3	経営基盤の強化 【到達点】乗合事業経常収支率の向上 ※算定期間は前年10月から9月の1年間	個別計画(宇部市地域公共交通計画)	乗合事業経常収支比率 (経営の健全性を表す指標) 算出式 経常収益÷経常費用×100	62.0% (R8)	53.3%	62.0%
人財育成/内部統制	・管理職が「凡事徹底」を実践し、係の朝礼などで積極的に「凡事徹底」の重要性を伝える。 ・ホウレンソウを密にするため、立って話を聞くなど話しやすい雰囲気づくりを心がける。 ・進捗管理、ミス事案の未然防止のため、毎月係長職以上でミーティングを行う。					

3 課の人的資源(R8.4.1時点)

正規職員	うち定年延長	うち再任用	
39	2	0	

会計年度職員	臨時職員
73	0

4 R8年度の主な取組（※重点順）

目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
1	安心・安全運行強化事業	重点実装 ②-2	未来1	928千円	常時、運行の安全を保つことで市民・利用者が安心・信頼できる移動手段を確保するとともに、利用促進につなげる。
	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	・安全教育システムの導入をはじめ、研修等による安全意識の向上 ・事故を未然に防ぐため、事故惹起可能性運転士への事故予防教育の実施 ・健康起因による事故防止のため、全運転士を対象にした睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査の実施 ・事故や苦情を繰り返す運転士の対応基準見直し ・安全性向上のための勤務シフト見直し				予防教育未実施運転士数 現状(R7年度末) 6人 ▶ R8年度末 0人
目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
2	路線バスサービス向上事業	重点実装 ②-2	未来1	313千円	路線バスの利用促進を図るとともに、市民・利用者のニーズ等を把握し、利便性の高い路線バスサービスを提供することにより、地域の価値を高める。
	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	・「はな金バス」による移動手段としての路線バスの認知向上及び新規利用者の獲得 ・市のイベントと連携した「路線バス運賃100円デー」を実施(年3回程度) ・市のイベントと積極的に連携した路線バス利用の啓発 ・社会見学における交通局施設見学で路線バス乗り方教室を実施し、「小中学生バス運賃無料化」を家族を含めた利用者増につなげる。 ・都市政策部が改定する地域公共交通計画と連携し、利用者ニーズを把握する。 ・中学生バス運賃無料化等の効果により、高校生の通学利用が増加傾向にある。更なる利用促進に向け、データ分析やモデル校におけるニーズを把握し、ダイヤ改正につなげる。				路線バスの1日あたり利用者数 現状(R7年度末) 5,055人 ▶ R8年度末 5,500人
目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
3	「宇部市交通事業経営戦略(経営計画)」の改定	重点実装 ②-2	未来1	2,000千円	・事業存続のため、経営基盤強化を目的とした経営計画はコロナ禍のR3に策定されたものであり、現状と乖離が生じている。 ・R8年度中に策定予定の「第五次宇部市総合計画後期実行計画」及び「宇部市地域公共交通計画」と整合を図り、持続可能な公共交通を維持していくためのロードマップを見直す。 ・運賃改定について方向性を示す。
	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	・事業の経営に関する重要事項を調査審議するため宇部市旅客自動車運送事業審議会を設置する。 ・持続可能な経営のあり方について審議する中で運賃改定の方向性を示す。 ・議会や宇部市地域公共交通協議会(協議会)に報告するとともにパブリックコメントを実施する。				経営計画改定進捗率 現状(R7年度末) 0% ▶ R8年度末 100%

目標 No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
	安定的な運転士及び車両の確保	重点実装 ②-2	未来1	運転士確保等 5,606千円 車両購入 83,160千円	・安心・安全で利便性の高い移動サービスを提供するため、運転士や車両の確保が必要 ・事業の持続性を向上させるため、運転士の平均年齢引き下げが必要
3	R8年度の取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	・運転士を確保するため、定期的かつ効果的な採用活動を継続する。 ・平均年齢引き下げのため、若年層をターゲットにした「養成員」採用を実施する。 ・運転士定着のため、職員登用制度を継続する。 ・運転士の応募及び定着のため、労働環境改善を図る。 ・安全性および利便性向上のため、路線バス車両を3台購入する。				運転士数
					現状(R7年度末) 66 R8年度末 70